

令和4年度 学校評価(自己評価・学校関係者評価)報告書

令和 5 年 3 月 20 日
学校法人暁の星学園 高知聖母幼稚園

1. 本園の教育目標

豊かな愛の心を持ち、主体的・積極的に生きる人間性の基礎を育てる

(教育方針)

カトリック精神に基づいた幼児教育を行うとともに、マリア・モンテッソーリの教育指針に沿った人格形成を目指す

(目指す幼児像)

- ・神と人と自然を大切にする子ども
- ・思いやりと感謝の心を持つ子ども
- ・明るく素直な子ども
- ・自分で考え、自分で行動し、責任を持つ子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

モンテッソーリ教育に即した保育内容の充実と、教職員の資質向上を目指す。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	園全体でモンテッソーリ教育への理解を深め、それを基盤にした保育の実践により、子どもたちの生活を豊かに導いていく。	B	九州幼児教育センターとのオンライン研修での学びを、日々の保育や環境構成の見直しにつなげることができた。子どもたちが幼稚園の中で伸び伸びと生活し、自己を発揮していくために必要なもの、またそうでないものを見極めていく大切さにも気づくことができた。幼児期の子どもたちが成長していくとき、その自由を妨げない保育を目指して今後も頑張っていきたい。
2	保護者とのよりよい関係づくりを大切にする	B	子どもたちの園での姿やエピソードを、毎日の保護者との出会いの中で伝えていけるよう努め、よりよい関係づくりを目指した。まだまだ十分ではないが、引き続き一人ひとりの保護者との対話を大切にしていきたい。また、2学期からは子どもたちの活動の姿をドキュメンテーションを活用して、見える形で発信する取り組みを始めた。保護者と情報を共有することで、よりコミュニケーションを深めていきたい。
3	南海トラフ地震対策の強化と、職員の対応能力の向上、また園児自身の安全意識を高める	A	今年度は新たに「災害時引き渡し訓練」を実施し、非常時における保護者との連携に向けて、一歩前進することができた。毎月の避難訓練では、子どもたちがより理解しやすいよう訓練内容を段階的に計画し、視覚カードやDVDを活用して園児自身の安全意識の向上に努めた。職員間では特に救命救急研修でAEDや心肺蘇生法の実践を体験したことで、より危機意識の向上につながったと考える。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理 由
B	自園の教育の特色であるモンテッソーリ教育について、全職員で学ぶ機会を設けたことは大変有意義だった。各々の学びを職員間で分かち合い、環境の見直しや新たな取り組み等につなげることができた。特に今年度は行事の見直しを行ったことで、運動会後は子どもたちが秋を楽しみながらのびのびと遊び、ゆったりと過ごせる時間になった。 降園時などに出会う保護者には職員から気軽に話しかけて、子どもたちのエピソードなどを伝えようと心掛けた。幼稚園が保護者にとって話しやすく、開かれた存在になることを目指し取り組んでいるが、園を訪れる機会が少ない保護者に対しては十分ではなく、今後も課題が残る。 安全対策については、新たに「災害時引き渡し訓練」を計画実施し、保護者とともに災害時の対応を確認することができた。また、園児の避難訓練についてもその都度目的を明確にして取り組むことができ、昨年度より園児の安全意識を高めることができたと感じる。職員は今後も非常時に備えて実践と検討を重ね、いかなる場面においても臨機応変に動けるよう対応能力を向上させていきたい。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	保育の質向上	今年度に引き続き、モンテッソーリ教育の視点から子どもたちの生活環境を見直していく。物的、人的、保育内容、あらゆる角度から改善を図ることで保育の質の向上につなげていきたい。 子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、自由を保障すること、そしてその中で社会性を育て、自己肯定感を高める教育を実践していくことを目指す。
2	子育て支援	園庭開放(てんしルーム)の更なる充実を図り、その中で現代にあった子育て支援の方法を探り取り入れていきたい。保護者からの口コミや SNS の活用など園からの発信方法についても工夫し、園を知ってもらうことから力を入れる必要がある。
3	安全対策	南海トラフ地震対策については、引き続き園児の避難訓練の充実、家庭と連携した防災意識の向上に力を入れていく。その上で職員の更なる危機意識の向上を目指し、様々な場面を想定したマニュアル作成と実践に力を注ぎたい。

6. 学校関係者評価委員会の評価

- ・昨年度より保護者に向けた情報発信が増え、保護者が幼稚園での子どもの姿を知る機会が増えたと感じる。また、それによって家庭の中でも親子で共通の話題を持つことに繋がり良かったと感じる。
- ・子育て支援の預かり保育については、「幼稚園での預かり保育」に一定の理解は示すものの、働く保護者のためにより柔軟な対応を期待する。
- ・今後も情報の共有を大切に、幼稚園と保護者・関係する方々と共に幼稚園運営に取り組んでいくことを期待する。